

「ハムレット」

りゅうとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズ 第五弾



りゅーとびあ能楽堂シェイクスピアシリーズ 第五弾

「ハムレット」

Ryutopia Noh-theatre Shakespeare Series fifth staging "HAMLET"

新潟公演

りゅーとびあ(新潟市民芸術文化会館)能楽堂

2007年11月28日(水)～12月1日(土)

東京公演

鉄仙会能楽研修所

2007年12月7日(金)～12月9日(日)

主催・(財)新潟市芸術文化振興財団

今日は、りゅーとびあ能楽堂シェイクスピアシリーズ「ハムレット」にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

りゅーとびあが開館以来取り組んでまいりました「新潟発創造事業」の一つである、りゅーとびあ能楽堂シェイクスピアシリーズもおかげさまで第五弾となりました。

日本の舞台芸術の伝統的な手法と精神を生かし、英国の古典であり世界の古典でもあるシェイクスピアの戯曲を、生き生きとよみがえらせる試みとして出発した本シリーズ。

能様式、シェイクスピアと、どこか難しいものと思われていたものが、この不思議な出会いによって予想外の効果を生み、命あふれる実に演劇的な新しい舞台を生み出しました。

そして、この秋、りゅーとびあアソシエイト・ディレクター栗田芳宏氏の演出によって、シェイクスピア四大悲劇の一つ・名作「ハムレット」が、なんと「浄瑠璃とピアノの調べ」にのって能楽堂によみがえります。

ハムレットが、りゅーとびあからどのように発信され、どのように展開されるのか……ご期待ください。

最後になりましたが、この公演の実現にあたりご尽力いただきました関係各位に心からお礼を申し上げます。

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 支配人 鈴木栄子

CAST

ハムレット
クローディアス
ガートルード
オフィーリア
レアティーズ

河内 大和
谷田 歩
山賀 晴代
町屋 美咲
中井 出健

先王の亡霊
ホレイシヨ
ローゼンクランツ
ギルデンスターン

荒井 和真
南 拓哉
村上 洋康
名和 和嘉子

ポローニウス／墓掘り

栗田 芳宏

使い魔

永宝 千晶
大山 真絵子
磯野 知世

浄瑠璃(弾語り)
ピアノ演奏

鶴澤 浅造
横山 道子

STAFF

作

ウィリアム・シェイクスピア

翻訳

松岡 和子

構成・演出

栗田 芳宏

作曲

鶴澤 浅造

人形振り

横山 道子
田卷 明恒

衣裳デザイン

時広 真吾(りゅうとびあ)

ヘアメイクプラン

佐藤 圭

小道具デザイン

後藤 信子
武藤 竜也(りゅうとびあ)

音響

原山 幹弘(りゅうとびあ)

照明

原山 幹弘(りゅうとびあ)

舞台監督

椎谷 忠弘(りゅうとびあ)

衣裳部

山田 志麻

ヘアメイクアシスタント

佐藤 匠

振付助手

五十嵐 怜子

舞台アドバイザー

関本 千恵
横山 道子

宣伝美術

やまだ てるお(モモグラフィック)

題字

名和 和嘉子

写真撮影

泉田 佑子(黒瀬はらまき屋)

宣伝映像

朝妻 一洋(クリエイティブコム)

東京制作協力

住田 隆彦

東京制作協力

有限会社ゴーチ・ブラザーズ

広報

伊藤 達哉

票券

大野 志穂子

営業

小嶋 香織(りゅうとびあ)

制作

上瀧 豪子(りゅうとびあ)

制作

對馬 静子

制作

西谷 幸敏(りゅうとびあ)

制作

星野 睦(りゅうとびあ)

制作

石田 寛(りゅうとびあ)

制作

佐藤 竜太郎

制作

諸橋 優

制作

笹部 博司(りゅうとびあ演劇部門芸術監督)

制作

鈴木 栄子(りゅうとびあ支配人)

制作

りゅうとびあ(新潟市民芸術文化会館)事業課

制作

劇団AUN

制作

KURITAカンパニー

制作

株式会社メジャーリーグ

制作

国際映像メディア専門学校

制作

鈴木 則子

制作

ナシモト タオ

制作

青木 健一

制作

西橋 健(佐渡 豊八郎)

制作

福山 ちひろ

制作

福山 ちひろ

制作

福山 ちひろ

制作

福山 ちひろ

制作

福山 ちひろ



レアテイーズ
中井出健

①信じている人に裏切られるといつも関係がはずれます。
②やはり会話します。
③「する」と「される」ので居りません。
④毎日。
⑤いつも。
⑥いつもの事ですが演劇が好きなので精一杯努力致します。

RYA TATEYAMA

70年12月28日出生まれ。文学座付属演劇研究所卒業後、10年間、出口典雄主宰、劇団シエイクスピアターに在団。現在、吉田剛太郎主宰、劇団AUN劇団員、主な出演作品「オセロ」「冬物語」「夏の夜の夢」「十二夜」「アテナのタイム」「ベネスの商人」。映画「パトリック・マクベス」に、同じ月を見ている「制作深作組」。最近ではシエイクスピア作品に留まらず新銀劇団Innocent Sphäre作、演出/西森英行に客演するなど活動の場を広げている。



先王の亡霊
荒井和真

62年生まれ。フアデット、ゴブスターニエの子守唄、家なき子(栗田芳宏演出等に出演。本シリーズでは第2弾「マクベス」ダンス・門番・医者等の三役を、「冬物語」ではカミロー役を、「オセロ」ではブラバシヨール、グラシアノーの二役を務めた。また、「オセロ」マクベス'07では音楽監督を担当。

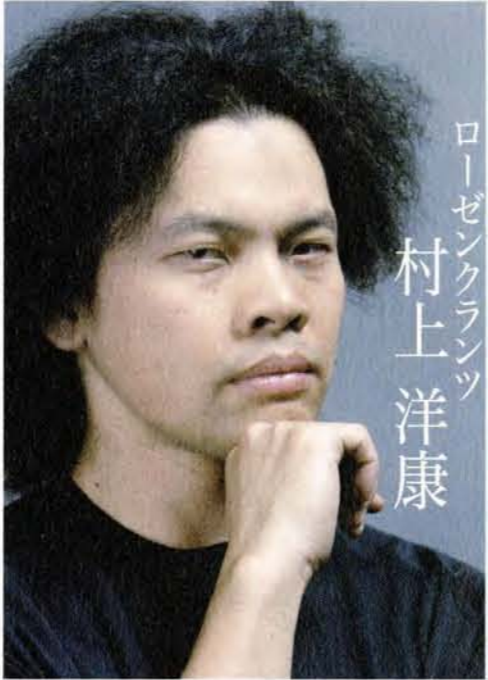


ホレイシヨール
南拓哉

①僕の初舞台となる「冬物語」で、髪型をモヒカンにされた時から僕の中にあつた羞恥心は皆無となり、以後どんな恥ずかしいことでも出来るようになりました。残念ながら、未だに関節は外れたままだけ。

KAZUYUKI NAMI

新潟大学教育人間科学部音楽科卒業。本シリーズ第2弾「冬物語」フリゼル役で初舞台。'06年の「レアティア公演」でも同役を演じた。他に、KURITAカンパニー「リア王」エドガー役、「テンペスト」フアデーランド役。



ローゼンクランツ
村上洋康

①小学生の頃の右肘の骨折くらいかな。②出来ることなら出てみたい。③怒りは大抵二晩で治まってしまふので、いない。④作り物をしている時。⑤二日酔いの朝。⑥憧れの能楽堂シリーズ、体当たりで臨むのみ。

1980年11月14日生まれ。高校生の時に出会った教師と先輩の影響を受け、芝居を始める。東京の大学に進学し、在学中劇団ひまわり俳優養成所に所属。その後劇団員となるが、在団中に栗田芳宏と出会い'06年11月にKURITAカンパニーに所属し、活動の拠点を新潟に移す。主な出演作はとんでろじいちゃん「スクールジ」空色白玉、「リア王」「テンペスト」。本シリーズには初参加。



ギルデンスターン
名和嘉子

①宴会の余興で「マッケンサンバII」を全力で踊ったとき、勢い余つて股関節がズレて、非常に痛かった。つてそういう質問じゃないですね。でも懸命に務めを果そうとした結果が負傷だから、まんざらハズレでもないかな？

KIKO NAWA

92年新潟市民ミュージカル「金髪のカネエ」で初舞台。その後地元劇団で活動。'98年リビエールとひまわり開館記念ミュージカル「ジャンボ」の森で賑わったフアデット役。本シリーズ第2弾「マクベス」にてマクベス夫人役をつとめた。KURITAカンパニーではリア王「エドガー」役、「テンペスト」パトリック「マクベス」役('07年)。

クローディアス
デンマーク王、先王の弟ハムレットの叔父

ガートルード
デンマーク王妃、ハムレットの母

先王の亡霊
デンマーク先王、ハムレットの父

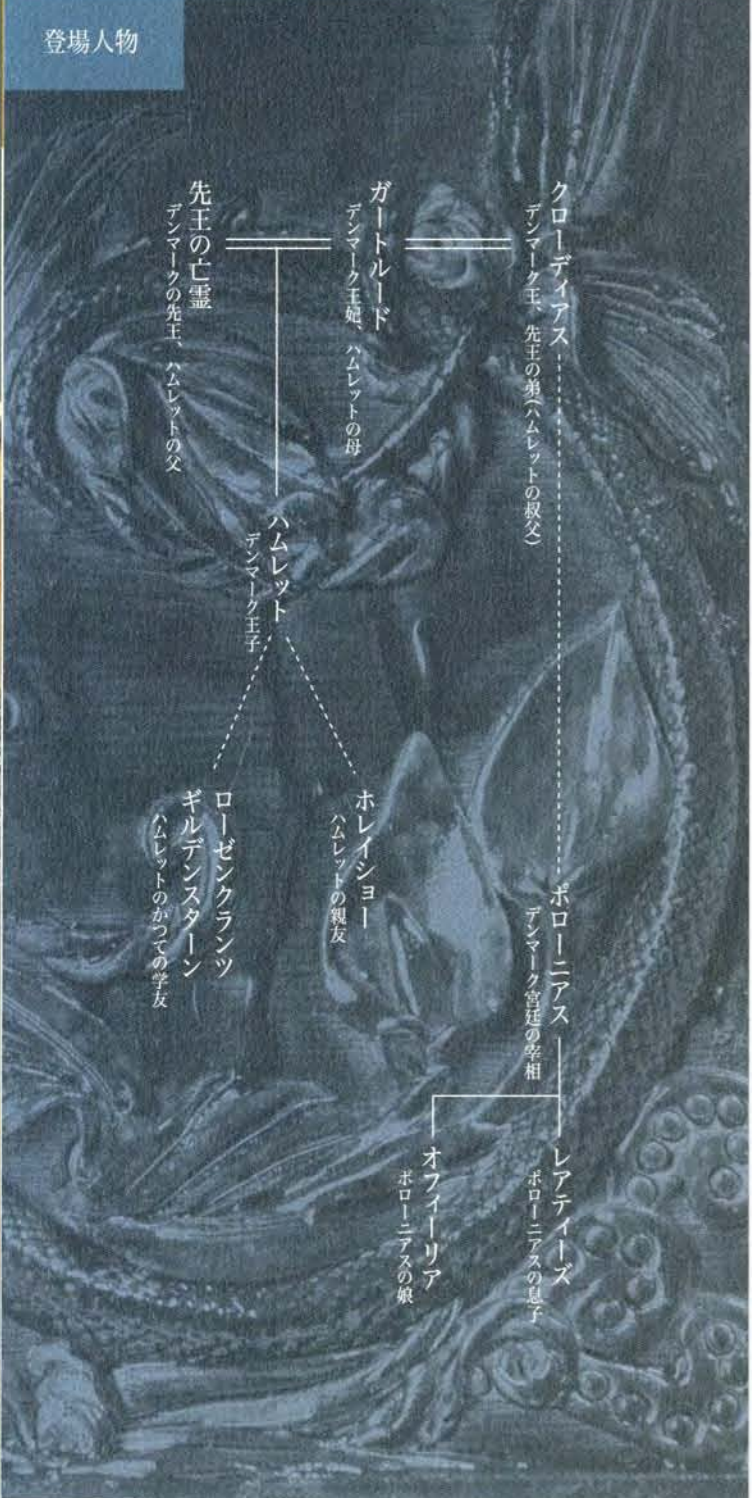
ポローニアス
デンマーク宮廷の宰相

ホレイシヨール
ハムレットの親友

ローゼンクランツ
ギルデンスターン
ハムレットのかつての学友

オフィーリア
ポローニアスの娘

レアテイーズ
ポローニアスの息子



使い魔 大山真絵子



使い魔 永宝千晶



使い魔 磯野知世



⑤間違っって他人の車に乗り込んだ時ですね。ドアを閉めてパツパツを見たなら知らないおじさんがいる…みたいな。もはや笑うしかなくて、満面のスマイルでフェイドアウトしました。おじさんも焦ったでしょうね。

⑥中学生の頃、数学が大の苦手だった私。授業中、先生に当てられる恐怖と戦いながら、あまりの緊張で痛くなったお腹をさすりつつ、可能な限り小さくなつていつも心の中で叫んでました。あたし消えろー！(泣)って。

⑧3年、柏崎市出身、新潟大学教育人間科学部音楽学科卒業。在学中、栗田芳宏氏のワークショップで芝居と出会う。'06年KURITAカンパニー旗揚げ公演「リア王」ララス王子役、業師。'07年「ベスト妖精」を演じた。本シリーズ初参加。

⑥私にとって、雲の上の存在の役者さん方との初舞台です。本シリーズを初めて観る方も、観たことのない方も、和の様式の「ハムレット」にご満足いただけると思います。それに沿えるよう、気合を入れて役に徹したいと思います。

⑨3年、新潟市生まれ、小学5年生秋、APRICO T公演「夏の夜の夢」で初舞台を踏み、以後、赤毛のアン(アン役)、雪の女王(山賊の娘)、グスコイフドリ(伝記)フドリ役などAPRICO Tの数々の舞台に出演。新潟フルトアンサンブルアカデミー第8回演奏会では、グスコイフドリメドレーの歌で出演。

- 質問①あなたの「関節がはずれてしまった」出来事は？
②亡霊に会ったかどうか？
③復讐したい人はいますか？なぜ？
④自分の任気を感じるときは？
⑤「消えてなくなりたい」と思った瞬間は？
⑥意気込みを語ってください！

浄瑠璃(弾語り)

鶴澤 浅造



ピアノ演奏

横山 道子



②経験がないのでその時に考えましよう。いざ亡霊に会ったら考えている暇もないでしょうけど。④芸に集中し、無我になって目の前も頭の中も真っ白になった瞬間。⑤舞台で突然次の文章や三味線の弾く手(曲)が出てこなくなった時。こういう時のことを言葉では「停電」と言いますが、神様でない限りあり得ることなのです。⑥「稽古の時はあくまで謙虚に、そして舞台に出たら誰にも負けない世界一の芸人だと思え」と教えられて来ましたが、それを実践したいと思いますが経験上なかなか難しいことです。

⑥今回新たなチャンスを与えてもらい、とても幸せです。私は毎日、ピアノに向かって目を閉じていました。自分の中から生まれ出てくる音を聴くため。それから、ピアノとしっかり握手できるように、祈るため。

本番は役者のみなさんの呼吸を感じ、この空間を楽しみながら、「ハムレット」を奏でようと思います！

MEIKO YOKOYAMA
「フアデット」でミュージカル初舞台。
「アルターニョの子守唄」出演。「家なき子」ではレミ役を務めた。また、本シリーズ「マクベス」悪女役、「リア王」影法師役、「冬物語」(初演)マリアスパーデイ役、「オセロー」パトリックの悪霊役を演じた。KURITAカンパニー旗揚げ公演「リア王」にて通化を、第二回「ベスト」では、音楽・振付「ピアノ演奏」を務めた。その他、「血の起程」少女役、「クラリモンド」随天使役、「田園に死す」等。



HAMLET「思考の儀式」

人間は思考を与えられることによつて「らしき」を手にし地上の征服者となった。「らしき」とは表現、すなわち人が人との間を築くための絶対的に必要な、道徳心である。反面、「らしき」は比較、すなわち欲や嫉妬を生み、その結果過ちを犯し多くのものを傷つけてきた。

「人間とはなにか？」

「罪とはなにか？」

原罪にするべく疑問を投げかけたハムレットの思考は、人間否定に及ぶ。

もし、この世の中に普遍的なるものが存在するとすれば、

それは人間の犯す罪なのかもしれない。

その根源こそは思考、すなわち「らしき」演技」ということか……。

そして人間が表現・演技を止めるとき、「ことば」は消え永遠の「沈黙」に向かう。

だが、再び人間の思考は新たなる肉体のもと蘇生し、この地上に現出する。

そしてこの世という舞台上に引き出された人間は、

「らしき」を身につけ、思考の儀式＝演技を繰り返すのである。

演出・ポローニアス／墓掘り

栗田 芳宏



「ハムレット」創作中、夢の中にたづなび先王ハムレットの亡霊が出た。演出家として先王の雲に聞かなければならぬクエスチオンは山程あつたが、僕は洗つてマアハで逃げていた。

YASUHIRO KURIHARA

78年、女優日本舞踊家の藤間紫の内弟子となり舞台演技を学ぶ。97年俳優吉田鋼太郎とともに劇団AUN創設。リョーとひあ(新潟市民芸術文化会館)アソシエイト・ディレクター(提携演出家)として、ジャン・ポーの森で監督、「アフアドット」(家なき子)などを数々のミニ・シカルを手がける他、本シリーズで国内外の高い評価を受ける。

その他の演出作品:「大正四谷怪談」「オ・フランス」「ハムレット」(血の記憶)など。

ピラスって誰？

旅役者の二行がハムレットのもとを訪れた時に語られる一節、「猛り狂いし豪傑ピラス……」。この豪傑ピラスとは一体何者？

ギリシャの叙事詩で歌われる「トロイ戦争」は、トロイの城壁を囲むギリシャ勢の、十年にもわたる戦争を描いている。ギリシャの英雄の中で、比類のない勇士といえばアキレス。母である女神テティスによつて鍛えられ、不死の体をもつたが唯一の弱点である踵(アキレス腱)を矢で貫かれて死んでしまう。その矢を放ったのが、トロイ方の英雄で戦争の発端をつくったパリス。そして、そのパリスの父が、トロイの王プリアム。伝説に名高い「トロイの木馬」に隠れ城壁内に侵入し、プリアムの命を狙うピラスとは、実はアキレスの息子なのである。豪傑ピラスもまた、父の命を奪った仇を討とうとする復讐者なのだ。

ハムレットの父の亡霊

ホレイシヨは、父の姿の亡霊を追いかけけるハムレットに警告し、亡霊が「いきなり魔性のものに姿を変え、殿下の理性を奪つて狂気に引きずり込む」かもしれないと言ふ。

この亡霊は、本当に父の霊なのか？悪魔が父の姿を借りてハムレットを騙し、無実の叔父を殺させようとしているのかもしれない。その真偽を確かめようとしてハムレットはなかなか復讐に踏み切れない。

ちなみに、ハムレットの亡き父の名もまたハムレットだった。それで彼は亡霊に出会った時に「なんと呼ぼう、ハムレット陛下、国王、父上、デンマーク王」と呼びかける。

デンマークのヘルシノア(エルシノア)にある「ハムレット」の舞台となったクロンボーク城では、今日でもハムレットの父王の亡霊が現れるという。また日曜に生まれた人だけがそれを見ることができるといふのだという。

「ハムレット」豆知識



祈つてる時には殺さない？

ハムレットが仕組んだ劇中劇の罫で、彼は叔父クロード・アラスが父を殺したと確信する。しかしその直後、祈つていて隙だらけのクロード・アラスと対峙するが、復讐は遂げない。なぜか？

祈りと懺悔によつて罪が清められている時に死ねば、魂は天国へ行くと考えられている。逆に、「神が与えた美点を一身に集めた」と褒め称えられる先王は、祈る間もなく殺されたため、「己の罪業が咲き誇るさなか……、すべての罪を背負ったまま神の裁きの前に引き出され」、煉獄で硫黄の業火に身をさいなまれることになる。

【参考文献】河合祥一郎「読解き「ハムレット」」(三修書房) ノメロス「オデュッセイア」(岩波文庫) 河竹登志夫「日本のハムレット」(南窓社) 松岡和子訳「ハムレット」(ちくま文庫 シェイクスピア全集)

「今夜は俺も見張りに立つ」

—シェイクスピアの言葉と能舞台—

清水 徹郎

りゅうとびあ『マクベス』は、私にとって一つの事件であった。身震いするような言葉の宇宙が色鮮やかに出現し、私は圧倒された。日本語のシェイクスピアで、言葉が奏でる音になにかを感じるのは初めての経験であった。

その時観た『マクベス』は二〇〇六年再演のもので、右近と笑也がそれぞれマクベスとマクベス夫人。声の響きがすばらしいと感じたのは、役者の声量故か、松岡訳の美しさか、それとも能舞台の構造になにか秘密があるのか。答えはおそらく、そのすべてであろう。

三者の幸運な出会いこそ我々は、ドラマを見るべきではないか。私は甚だ迂闊なことに、このような事件がすでにその数年前に始まっていたことをその時まで知らずにいた。その後、『オセロー』と多少演出を変えた『マクベス』の再々演を観る機会に恵まれ、さらにDVDで初演版『マクベス』、『リア王』『影法師』、『冬物語』も観たが、いずれも最初の印象をあらためて確信させるものだった。とくに再々演の『マクベス』は、まさに洗練された舞台であり悲劇としての完成度が高い。

シェイクスピアのテキストはよくできたもので、台詞の表面をなぞるだけでもそれなりに芝居になってしまう。だが例えば『ソネット集』を二度でも本気で覗いたことがあればわかるように、シェイクスピアの言葉の魔力には底知れぬ深さがある。単に美しいばかりではない。詩はときとして我々の脳天を強打し、体を大地に叩きつける。だから芝居においても、言葉が心と体を揺さぶることがない限り、それは本物でないように思う。ホンモノとニセモノ、オリエントとコピーとを見分けようとする努力自体が無意味とされがちな現代だが、りゅうとびあ能楽堂シェイクスピアにはあえて本物を、その言葉の魅力の根元に迫る奇跡と至福を期待してしまう。

エリザベス朝の劇場と能舞台との特徴的な違いの一つは、ステージへの出入り口にある。前者には舞台奥の左右に計二つのドアがあり、その向こうは隣室かもしれないし表通りかもしれない。要するに連続し隣接した空間を繋ぐ出入り口にすぎない。それに比べて能舞台の橋掛りは、ときに彼岸と此岸を分ける。ホレイシヨールから父の亡霊出没の話聞いたハムレットは、深夜の城壁に立つことを決意する。そこで耳にする言葉が彼の悲劇の始まりだ。ハムレットが城壁に立つて覗き込んだ心の深淵を表現するには、時空を越えた想像力をわれわれに掻き立てる能舞台こそが相応しいのかもしれない。

TEISURO SHIMIZU

お茶の水女子大学准教授、英文学
著作に『ことばと文化のシェイクス
ピア』(共著、2007)など。

17世紀の芸能

和田 修

『ハムレット』の初演は1601年頃(初版は1603年)との説がありますが、
このころ日本の芸能は、どのようなものだったのでしょうか？

1603年、慶長8年は日本の芸能史を劃期する、重要な年だといわれています。

出雲のお国という女性が、「かぶき踊」を始めたと考えられるからです。それまで「ややく踊」という、可憐な少女の踊を演じていた一座が、「躍全国に名を馳せることになったのです」。「ややく踊」は、平安時代後期から行われるようになった風流の芸能の系譜に属します。江戸時代直前まで発達を遂げて、それぞれの時代に多くの人を魅了する芸能であったのですが、5世紀あまりの間の変化はかなり緩慢でした。それが1603年前後に新たな芸能として再創造され、今日まで400年の歌舞伎の歴史を刻むことになったわけで、近世という時代が、一気に中世と隔絶して成立したことを象徴するできごとともいえます。

これに遅れること数年の間に、もうひとつ、近世の芸能を(そして今日の日本の古典芸能を)代表する、「浄瑠璃操」(現在の人形浄瑠璃)という芸能が生まれたのですから、17世紀初頭の日本の文化が、いかに新しい息吹に満ちていたかがわかると思います。歌舞伎と同様、人形浄瑠璃にも長い前史があり、しかもそれは、人形の歴史と浄瑠璃の歴史にわかれています。

人形芸は平安時代頃から各地で行われていたらしく、田楽や相撲など、人間が演ずる芸能を人形が模倣するものでした。中世後期には摂津国(兵庫県)西宮夷神社の下級神人たちによる「夷兒ひなごき」とか「夷廻し」といわれる人形芸に人気がありました。首からかけた箱の中でエビス様の人形を操る単純な門付け芸だったので、やがて「能操」と称し、猿楽能(今日の能楽)を人形で演じて好評を博すようになりました。しか

しこの段階までの数世紀間、人形芸というのは、相撲・田楽・猿楽能など人間の芸能の模倣にすぎなかったわけです。

いっぽう、浄瑠璃は、室町時代物語または御伽草子などと呼ばれる中世の語り物の一種です。東海道やほせ矢作の宿(静岡県)、峰の薬師を中心とする女性宗教者たちが語っていたと考えられ、浄瑠璃御前と牛若丸の恋物語を主眼とした内容でした。当初は一地方の語り物であったのが、やがて京都に伝わって洗練され、15世紀後半には「浄瑠璃」という名で広く知られるようになりましたが、江戸時代に入るまでの2世紀の間は耳で聞く語り物としてのみ行われていました。

まったく別個の道を進んできた「夷兒ひなごき」と「浄瑠璃」が、江戸時代に入ってから手を結び、歌舞伎にならって芝居小屋を構え、語り物の内容を人形が演ずるといふ新しい芸能を生み出しました。正確な年はわかっていませんが、慶長18年の宮中の記録が最初で、それ以前から庶民を相手に行われていたと考えられます。

人形芸としては、はじめて人間が演ずる芸能の模倣ではなく、純粹な語り物である「浄瑠璃」と結んだことで、自由な表現が可能となりました。「浄瑠璃」もその内容を視覚化できるようになって、急速にレパートリーが拡大し、さまざまな歴史的な題材や室町時代物語に取材しつつ、新世代のヒーロー(坂田金平など)を生み出してゆきました。

歌舞伎も人形浄瑠璃も、古代中世以来の伝統を受け継ぎながら、江戸時代に入って飛躍的展開を遂げて新たな芸能として誕生しました。それから60〜70年後、近松門左衛門が劇界に現れ、歌舞伎では坂田藤十郎、人形浄瑠璃では竹本義太夫などとともに、さらにそれぞれのジャンルに磨きをかける、いわゆる元禄文化の時代を迎えることになります。17世紀は、今日の古典芸能の基盤が確立した、躍動の時代であったといえるでしょう。



浅造 劇中劇の作曲をと言われた時点で、驚いたというか、どうしようかなと思まして。何しろこういう事は初めてで。古典の世界にいますと、新しい事なんかやるなと言われますから、云が荒れるからと。今はフリーになつて色んなことに挑戦したいと思つていて。はじめ、純粹に義太夫に作曲すると、最近私が取り組んでおります古浄瑠璃風の作曲と、二通り作つて提案しました。古浄瑠璃（※1）というのは義太夫以前の浄瑠璃で、佐渡の文弥節（※2）ですとか、また義太夫節に今現在残っている中に、古浄瑠璃ではないかと思われる節があるんです。学術的に証明されてはいないけれども。それを参考に私なりの古浄瑠璃風の作曲をしました。これはひよつとしたらシェイクスピアの「ハムレット」が初演された頃により近い、そういう可能性が考えられる曲調かもしれません。そういう狙いで作つたので栗田さんが義太夫でなく古浄瑠璃の方を選んで下さつて、非常にうれしかったです。

栗田 浄瑠璃は「歌」というより、台詞・言葉で、ものすごくリリズム、リアリズムのディフォルメというふうなものがありませんよね。見ているとそこで二人で芝居なさってますよね。男やったり女やったり。

河内 ほんとに、聞いてて、見てて楽しい！ しぐさなり呼吸なり動きに、全て魂が宿っているような感じがして。

栗田 特にシェイクスピアは、言葉にリズムが無いと聞いていられない。音として入つてこないですよ。その辺は松岡先生がご苦労なさつてる点だと思つてますけどね。

河内 日本語を飽きさせないで聞かせるためには、義太夫というのは真骨頂なんではないかと思われました。

栗田 この「ハムレット」に関しては、「そもそも人間は演じるものだ」という事を最初に言つてしまつて、人間は全部じゃないんだつて言われ続けてましたね。

浅造 上手いわけないんだから。知れてんだから。僕は15年くらいたつてからもまだ、上手いわけないんだから、上手下手じゃないんだつて言われ続けてましたね。

栗田 プレイでも二つ意味があると思つただけ。演劇を楽しむ、芝居するプレイ(Play)と、祈りの方のプレイ(Pray)と。むしろ祈りのプレイの方が、日本人がシェイクスピアをやる時に向いてるんじゃないかと思つてますよね。演劇的なプレイでは、向こうのリアリズムに日本人が勝てる訳がない、姿・形からしてリアリズムが無いわけだから。だつたら日本独特の儀礼儀式を使つて、祈りの方のプレイにしていれば、全く違う、全く新しいシェイクスピアが出来るんじゃないか、って、確信にも似た思いがしてらんです。シェイクスピアは、精神性からの解釈で読んでいくと、逆に楽なんですよ。浅造 そういう意味でも古浄瑠璃っていうのは、志向がぴったりしてますね。古浄瑠璃と深い関わりのある説教浄瑠璃は非常に宗教性の強いものでして、お客様たちはそれを見た後、楽しんで、わあ！となるんですけれども、最後は手を合わせて「ああ、有難うございまして」ということになるんですよ。

河内 日本人の精神は祭りだと思つてますよね、わいわい騒ぐ祭りだけではなくて、豊かな実りを祈る祭りであつたり。そういう精神性で今の日本人は忘れがちじゃないですか、そこを、シェイクスピアをやりながら見直すべきなんじゃないかなと。そうすると日本人がシェイクスピアをやる意味が結びついてくるんじゃないかと思つてます。

横山 浅造さんに出会わなければ、こんな芸能に触れる機会もなくて。

浅造 なかなかないですよ。

横山 言葉も今の言葉じゃないし、難しいんだろうなあと思

作り物である、芝居をする動物だと、人間否定から始まるでしょ。ハムレットは人間は好きじゃないけれど、役者だけは好きだつて言う。こつちは真実をやつていても嘘じゃないか、むこうは嘘をやつても真実だぞつていう、その虚実の変転が「芝居の教科書」といわれるところ。だから思いつて、これぞ芝居！つていうのを劇中劇の中に持ち込まないと、その差が出ないんですよ。

浅造 デフォルメして、デフォルメしてですね、その上のリアリズムでやるわけですよ。

河内 最後の毒のくだりなんか、

横山 あ、すごい！

河内 毒がバンバン出てる感じがして。

栗田 毒薬のうたい方もそれぐらいイメージさせてくれる。「毒薬！」つていうところ。あれはいいですね！

河内 快感。

栗田 芝居の中の曲つていうのは、今そこで行われているものリズムであるべきだから、役者と曲と、どっちがイニシアティブをとるのかは別にしても、お互いそこは阿吽の呼吸だと思つてますよね。

浅造 もう臨機応変というか、行き当たりばつたりみたいなところもありますよね。

栗田 それがライブのおもしろさというか

浅造 理屈じゃないですよ。師匠によく言われたんですけども、理屈は大事だと。それも頭の理屈じゃない、腹から出る理屈じゃなきゃだぞと。だけれども最後は理屈ぬきだと。自分の感性で、なりふり構わず行けと。失敗しても、それは失敗とかそういうことじゃないと。上手下手じゃない。

横山 上手く弾こうと思つても、なかなか思うようにいかないですよ。

つてたんですよ。でも、浅造さんの語りを聞いてると、どの言葉もほんとに分かるんですよ。心まで響いてくる。

栗田 恐らく、二つの言葉をどう表現するかつていうことに関して、物凄く計算してると思つてますよね。僕がいつも言っている、二行二行をきちんと成立させなきゃいけない、台詞に責任を持たなきゃいけないつていうのは、そういうことなんだよね。書かれてることを読んでちゃダメなんだよね。別にあげとくやれつて言ってるんじゃないよ。だけど、その気持ちを持って、言葉をやらないとダメなんだよね、役者として。

横山 音としてもテンポにしても、なんにしても全部違うので、おそらく計算されてると思つてますけど、

浅造 そのつもりで、やつてるつもりなんです。

栗田 役者がシェイクスピアの言葉を扱う時に必要なもの、

横山 強弱、高低、早い遅い、間、…もう一つなんだつて？なん

だつて？

浅造 まるつきりそのものですよ。

栗田 だから浅造さんの言葉を聞いてよく勉強しなさいと言つてらんです。シェイクスピアをやる時に大事なんですよ。シェイクスピアは独特なんです。それが扱えないと。だからといつて全部歌つちやうとリアリズムがなくなるし、そのところが恐らく難しいと思つてますが、シェイクスピアをやるのには絶対的に魔力が必要だけれども、今回の魔力は浅造さんの言葉！ 非常に大きな魔力をいただいて。

浅造 こういうご縁で、それも新潟で出来るつてこと自体がすごく幸せに思います。ご縁させていただくのは楽しいです。そのうちに苦しみになるかもしれないけれども、いい意味でお互いに磨きあつて苦しめれば、この席をおかりして御礼申し上げます。■



※近松門左衛門と手を組み、現代に至るまでの流れを作り上げた天才劇作家 竹本義太夫のいわゆる「義太夫節」以前の浄瑠璃を総称して「古浄瑠璃」という。近松と義太夫が手を組んだのが1685年頃、その後百年ほどの年月を経て、今日でも文楽などで上演されている形にまとまってきたと言われる。古浄瑠璃の演劇形態は、佐渡の文弥節に見られるように、語りと三味線を一人二役で兼ねる弾き語りもあつたと考えられる。



山賀 お二人ともなんか色っぽいですよね、声がね。
河内 二人の声って息がボンって出てる感じがして。僕、硬いじゃないですか、いろいろ。

中井出 それはね、特質だと思うよ。損することではないと思うよ。
谷田 河内のそういうのを利用してさ、この前のエアリエル^{※1}とか物凄く良かったじゃん。河内は道化役者なんだよ。(笑)とか言っちゃって。勝手に決め付けてるけど。

中井出 確かにね、本質的には、道化役者なんだよ、顔こわいけど。

谷田 河内の道化はずこいよ。この顔でスツと出てきて、淡々と喋ってる、そんな道化がいたら誰にも真似できないから。今回のハムレットの演出だつてね、

中井出 そうだよな。

谷田 そうなってる河内がおもしろいんだよ。

河内 逆に、それを武器にしてね。

山賀 コンプレックスはないんですか？ 歩さんは？

谷田 あるよ！ コンプレックスだらけだよ俺！

山賀 はい、発表してください。

谷田 それは言えねーよこの場では！ いろんなコンプレックスだよ！

山賀 私、おでこはすごくコンプレックスでした。でももうあきらめつていうか。コンプレックスを個性として出していくしかないみたいな。

谷田 つかさうでしょ、だつてもう、コンプレックスだと思わないでしょ？

中井出 コンプレックスだと思ってるって、人はどうでもいいんだよね。逆にそこが美しかったりするんだよ。

—— コンプレックスだったものが、今武器になつてるっていうのはありますか？

中井出 俺、声、シアター^{※2}に入つて、ずつと怒られてたもん。「お前は、声でねんだよ、バカ野郎！」って。出なくて、いじめられっぱなし。壊れたレコード^{※3}って呼ばれてた。

河内 へー。

中井出 でね、入つて7年目ぐらいかな、旅公演行って、アンケートに

ら、楽なんですよ、すこく。
中井出 劇団で一緒に長くやつてるからね。だから、こういう風に言つてあげた方が次言いやすいだろうとか、ここで止まつてあげた方が寄つて来やすいだろうとか、そういうさじ加減は、

谷田 目と目のやりとりがあつて、どうする？ って、ちゃんとコンタクトがあるのが楽ですよ。その方がやつて楽しいしね。頑張っちゃう過ぎない方がいいんじゃないの？ もらつてもらつてさ、その方が楽だと思うよ。もらえないとき、

河内 芝居になんか。

谷田 公話だつてそうでしょ。普段でもこういう公話してて、絶対もらつてはすだよ。パワーを、

山賀 あげてない？

谷田 もうね、すぐすかすのよ。僕がこうやって喋ってるのにさ。左から来たものを右に受け流すタイプだね。

河内 喋った後、投げ出すでしょ、なんか、

中井出 振つていて、はつと逃げるんだもん。冷酷人間だよ。(同、笑)

山賀 違うー！

河内 僕、ものすごく引き出しがなくて、もう一段ぐらいのタンスだから。(笑)ダメ出しされて次のものを持っていつても、自分では変えてるつもりでも全然変わつてないんですよ。

谷田 引き出しから出そうとしなきゃいいんじゃない？

河内 引き出される？

谷田 だからさ、ほつときゃいいんじゃない。身を任せちゃえばいいじゃない。引き出し、開きっぱなしでもいいしさ、たまにちよつとだらしないくなつてみたら。

山賀 一緒に生活して…：だらしなさを、勉強した？…

河内 いやけつこうきつちりしてるもん、歩さん。

谷田 おまえ、俺の事だらしなと思つてんの？

山賀 思つてない！

谷田 部屋の掃除とかね、そういうのは役者として基本だからね。ちやんとしないと、生活は。飯食つて、寝て、風呂入つて、歯磨いてつて

初めて書かれたの、オーペロンの人の声が素敵って。嘘！ 俺、そこまでいつてんの、今!? つて感じ。嬉しかったよ、初めて、ほめられて、涙出そうだったもんね。それから自信をちよつと持つてさ。じゃあもつとやろうと思つてね。

河内 俺は今それが一番コンプレックスだな。声。声の出方。

谷田 いいじゃん。

中井出 キレイに音が出るんだから。声っていうか息なんじゃない？

河内 そうそうそう。息なんですよね、息の使い方が。

中井出 吸つたもんを全部使っちゃえばいいんだよ。一個の単語でも何でも。

山賀 お二人が来て、(河内は)すごい変わったよね。楽になつたでしょ。河内、やつぱりね、勉強になるんですよ。というか、二人がいると楽なんですよな。

山賀 すこいそういう感じがする。なんか、人で頑張つてたのが、二人がいるから、楽になつて、

谷田 一人で頑張つてたんだ河内。

中井出 そりやそうでしょ、ハムレットだもん。

河内 なんか頑張つちやうんだよね。

中井出 でも適当なやつらが来たからね。

河内 そうそうそう、その適当さか。僕らには、特に僕には適当さ加減のがないから。

中井出 分かる。真面目だもんね。

山賀 わたし、わたしも真面目。

中井出 俺も真面目派なんだよ、歩に比べれば。

谷田 俺も真面目なんだよ。前に比べれば。

中井出 晴が、一番いい加減だよな。

山賀 なんて！ ひどい!!

河内 多分すこい考えてるんでしょけど、…：それが出来ないだろうね。

山賀 出ないだろうね。

河内 でもいいと思うよ、それが。

谷田 僕も、健さんとやる時は、言葉と言葉で共鳴するものがあるか

のはね。いかりや(長介)さんだつていうんだしさ。それはしないと、役者として駄目なんだよ。

中井出 ある意味二人とも、学びたいけど、もう自分が持つてるものを後輩に伝授しなさいよつて立場でしょ。河内も晴も。でも、めんどくさいよね、俳優として。俺と歩は極力逃げるからね。

山賀 でも、中井出さんに聞くと、ね、すこい丁寧に、

中井出 聞かれればさ、そりや。自分でも教えてもらう時あるじゃん。でもそれはその人にリスペクトがないと聞かないでしょ。

山賀 うん。

中井出 この人凄いなつて思うから聞くんであつて、そうじゃないと聞こえてこない。

谷田 それ以外はフェイクだよ。

中井出 (山賀に) これはフェイクばかりだから。

山賀 なんて！ わたしそういうキャラになつてる？

谷田 でもそれで学んでいくんじゃない、自分の演技の方向性とか。この人に聞いて間違いないのかな、とか。

山賀 いや、聞きやすいつていうか。中井出さんと歩さんは、素直に思つたことが聞けるから、

谷田 フェイクじゃないんだね。

山賀 はい。

谷田 フェイクつて、言い方が悪いんだよね、

中井出 いや、ほんとに聞いてるか聞いてないかってことだよ。

谷田 晴は、ほんとにどうしようつて悩んで、聞いてきてさ。でもその次の口とかさ、あんまり変わつてなかつたりするじゃん。(同、笑)

あれ？ 昨日言ったのにな？ あれ、じゃ、聞いたのはフェイクだったのかな、つて考えちゃうんだよね。

山賀 私どうしたらいいんだろうね？ どうしましょう私。私を、最悪な女にしてない？ 冷酷とかさ。

中井出 分かつてるよ晴ちゃん、一番ホットなのハルちゃんだよ。ホット

トホット！ ■



※1 KURITAカンパニー第2回公演「テンベスト」(07年7月)で河内大和とエアリエル役を演じた。
※2 出演順通りから下がる順にシェイクスピアシアター、シェイクスピアの全作品を上演したことも知られる。
※3 「テンベスト」稽古中、谷田歩は河内君に寄附していた。

全国第一号地ビール



エチゴビール株式会社
〒953-0016 新潟市西蒲区松山2番地
TEL 0256-76-2866

※商品のご購入はフリーダイヤル

0120-72-0640



りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズ

<http://www.ryutopia.or.jp/skp/>



第一弾 「マクベス」 2004年5月23日(日)初日

出演/河内大和, 名和和嘉子ほか 演出/栗田芳宏 翻訳/松岡和子 作曲・ピアノ演奏/宮川彬良

童女姿の魔女たちに支配された、美しい悪夢。
おかつば頭の着物姿、幼い魔女達のわらべ歌がこの悪夢の世界を司る。
鮮やかな対の中、マクベスは野心の虜となり、まるで舞うように破滅へと突き進む。



第二弾 「リア王—影法師—」 2004年12月25日(水)初日

出演/白石加代子ほか 演出/栗田芳宏 翻訳/松岡和子 作曲・ピアノ演奏/宮川彬良 衣裳デザイン/時広真吾 ヘアメイク/我妻淳子

影が映したす、王の悲劇と悟り。
視であり、王であるリア。寓意的にリアと三人の娘の關係に焦点を絞り、偉大なる人生の破滅を、三つの影法師によって具現化。
全ての愚を悟った王は菩薩のように微笑みこの世を去っていく。



第三弾 「冬物語—Barcarolle—」 2005年9月7日(水)初日

出演/谷田歩, 中井出穂, 山賀晴代, 横山道子ほか 演出/栗田芳宏 翻訳/松岡和子 衣裳デザイン/時広真吾

時を超え、雪一面の世界によみがえる命。
舟歌(バルカローレ)が結ぶ、シチリアとポヘミア、親と子、過去と未来。
嫉妬によって全てを失った王は、冬の16年間ののちに、人知を超えたゆるしを与えられる。
[ルーマニア公演劇場版06 出演:河内大和, 中井出穂, 山賀晴代, 町屋美咲, 関宮啓行ほか]



第四弾 「オセロー」 2006年8月22日(火)初日

出演/谷田歩, 植本潤, 市川笑也ほか 演出/栗田芳宏 翻訳/松岡和子 衣裳デザイン/時広真吾

野生のリズムが、嫉妬の毒に燃え上がる。
失恋のため命を失った少女の呪いが嫉妬の化け物を生み出し、高潔な純愛を悲劇に走らせる。



特別版 「マクベス」06・07

出演/市川右近, 市川笑也, 菅生隆之, 藤間紫ほか 演出/栗田芳宏 翻訳/松岡和子 衣裳デザイン/時広真吾

右近、笑也、地獄の道行き。
マクベスに市川右近、マクベス夫人に市川笑也、魔女たちを司るヘカテに藤間紫を迎えグレードアップ。
カラクリ人形と化した魔女たちが悪夢へと誘う。



720ml(化粧箱付) 1.8L(化粧箱付)

純米吟醸 越後鶴亀



1.8L
*720mlもございます。

大吟醸 越後鶴亀 桐箱入

越後鶴亀

創業明治二十三年
雪国の自然とともに
伝統の技で醸し出す美酒
旬のお料理といっしょに
お楽しみください。



上原酒造株式会社

〒953-0023 新潟市西蒲区竹野町2580
TEL 0256-72-2039(代) FAX 0256-73-3875
E-mail: tsurukame@h3.dion.ne.jp
URL: <http://www.echigotsurikame.com>

DVD発売中

通信販売(送料350円)のほかりゅーとぴあ2F
インフォメーション窓口販売も行っています。
お問合せ/りゅーとぴあ事業課025-224-7000
またりゅーとぴあホームページをご覧ください。
<http://www.ryutopia.or.jp>



第一弾
「マクベス」
¥3,000
*在庫わずか



第二弾
「リア王」
¥4,000



第三弾
「冬物語」
¥3,000



第四弾
「オセロー」
¥4,000



特別版
「マクベス」06
¥5,000